

## 国内グループ会社

### トウペ

#### 会社紹介

株式会社トウペは、1915年の創業以来、総合塗料メーカーとして社会に貢献してきました。2013年にゼオングループの一員となり、より一層の基盤強化を図ることができました。塗料事業では高機能で環境にやさしい各種塗料を、化成品事業ではアクリルゴムを中心とした高機能素材を製造・販売しています。



南 忠幸社長



トウペ本社

#### 環境安全活動

##### 1. MD 活動の推進

当社では事業所ごとにMD(ムダ取り)委員会を設置してMD活動を推進しています。現在取り組んでいる活動は文具備品のリサイクルを行うエコステーションと、緑化運動としてのグリーンカーテンです。



MD委員会による事務所エコステーション



MD委員会を中心に構内の緑化運動実施  
(グリーンカーテンの育成)

## 2. 安全活動

### 無休業災害日数 3,000 日を達成

各事業所では、無休業災害日数 3,000 日を目標に掲げ、従業員一人ひとりが安全に対する意識を向上させて操業を行っています。九州工場と茨城工場では、目標である 3,000 日を達成しましたが、小さな事故やヒヤリハットは依然として発生しています。今後ともこれまで以上に安全対策や安全教育を実施していきます。

### 5S 活動(クリーンタイムの実施)

三重工場、茨城工場では昼休み後 15 分間をクリーンタイムとして 5S 活動に取り組んでいます。

まずは、整理・整頓・清掃を中心に活動を開始しました。要らないものを捨てると、空間を作り出すことができます。また、綺麗になると今まで見えなかったものが見え、新たな気づきを生み出すかもしれません。

今後もクリーンタイムを継続して実施し、綺麗な工場を目指します。



茨城工場 2014 年 2 月 8 日に無休業災害日数 3,000 日達成



九州工場 2013 年 10 月 28 日に無休業災害日数 3,000 日達成



クリーンタイム

(※環境関連データは次年度から報告します。)

## 地域との共生活動

三重工場では、昭和 57 年から献血活動を行っており、延べ回数が 54 回にもなります。最近では、2013 年 11 月 28 日に実施しました。

茨城工場では、毎年秋に古河市消防署が主催する消火栓操法大会に参加しています。消火栓操法大会とは、消火作業の技能を競うもので、決められたルール通りに素早く消火作業ができたかを競うものです。大会での優勝を目指して毎回参加してきており、2 年前に 3 位入賞しています。また、大会に参加することで消火技能は年々向上しており、工場内で年 2 回実施している消火訓練にも役立っています。さらには、参加する近隣企業との交流が強まるとともに、消防署とは小さなことでも気兼ねなく相談できる関係になっており地域社会との結びつきも深めることができます。

また、毎年 6 月には茨城工場が属する北利根工業団地の企業 16 社と古河市環境課が合同で北利根工業団地の加盟企業をパトロールし、環境対策の実施状況について調査するとともに地域企業との情報交換を行っています。



場内で献血活動中の献血車



消火栓操法大会の様子